

相談ネットワーク通信 No.76

2013. 2. 28 (木)

TEL/FAX 086-226-0110

Eメール: soudan-net@vivid.ocn.ne.jp

子育て教育なんでも相談ネットワーク 岡山市北区表町1-4-64上之町ビル3F

新しい年を迎えていかがお過ごしでしょうか。

「相談ネットワーク」は、皆様方の暖かいご支援により、おかげさまで設立以来、二十三年を迎えることができました。

昨年は、教育団体から助成金をいただき、ネットワーク通信特集号「いつでもそばにいるよ」を発売

しました。

新しい年を迎えて 難波一夫



刊しました。さらに「通信」の発行を増やす努力をしていましたが大黒柱の奥田さんが体調を崩され入院されました。ピンチヒッターとして、急遽 石井さんにバトンタッチしました。奥田さんの回復を心から祈っています。

また、おかやま教育文化センターの一翼を担って、五年ぶりの「教育のつどい」に参加しました。これは、県内の色々な民主団体が、教育と文化にかかわる諸課題の解決をめざしてシンポジウム、講演会、学習会、映画会...などに取り組んでおられますが、その個別に行なわれているものを一堂に

会して総合的に考察し、力を一層大きくして解決を図っていくことするものだと思います。この「つどい」で、切実な要望としてまとめられたいくつかの項目が、行政に反映されて、新年度の予算案

に反映されて、新年度の予算案

に反映されて、新年度の予算案

に反映されて、新年度の予算案

に反映されて、新年度の予算案

に反映されて、新年度の予算案

に反映されて、新年度の予算案

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

前号の「教師の仕事」を

書いて下さった
小学校教師



平川和子さんから話が聞けた 石川真佐代

あの話を、もう少し
詳しく聞きたいという
声が寄せられ、平川さ
んから話を聞くことが
できました。

私が最初に感じたの
は、次の四点です。
○職場に、子どもの発
達を継続的に見るこ
とのできる正規の教
員が必要である。
○定教法の矛盾が、学
校を混乱させている。
一学級四十人なり、
一人二人の違いで一

年間が、天国と地獄。
(41人なり二学級となり
21人と20人でゆったりと
するが、40人ならば一学
級のままでよい。)

私が最初に感じたの
は、次の四点です。
○職場には、適正な職員
構成が必要だ。
経験豊かな人、働き盛
りの人、学び続ける若
い人など、どの年齢層
にもまんべんなくいる
ことが望ましい。
○学校評議員は、何のた
めにいるのか。全く形

式的でしかないのでは
ないか。
学校と地域の様子
平川さんが勤めてい
た学校と校区には、私
にはよくないと思える
特性があるようです。
●保護者が、学校を休
ませて、子どもを連れ
歩く(病院などへ行っ
ても、帰りに親の都合
で、マーケットなどを
連れ歩く)

●何でもすぐに、校長
に、言いつけに来る。

平川さんがいた頃、
その学校は、二年生と
三年生以外は、一学年
一クラス。四、五、六年生
は、4人クラスだった
ので、教室いっぱい
ワイワイと落ち着かな
い学級ばかり。教頭や
教務が学級に入らざる
を得ない状況。学級崩
壊の様相だったそうだ。
教職員の年齢構成は、
学級担任は、50代、40
代の女性。後は30代と
20代。30代の生徒指導

の教師もよくがんばっ
ていたけれど、限界
があったようです。

教師集団は、自分
のことで手一杯で、
助け合い支え合っ
た。程遠い集団。
校長も、保護者の
「直訴」対応で手一
杯。教師を育てたり、
学校集団を育てたり
する余裕も見識もな
かったのでしょうか。

K子のこと

平川さんが苦しん

だのは、K子の祖母との対応。K子は、特別に可もなく不可もなく過ごせる三年生でした。家族は、祖父母と母親とK子の四人。



K子の簡単な略歴

- ・幼稚園の時に、K子の首を絞めた男子と、同じクラスにしないで。」と毎年祖母が、学校に言いに来る。
- ・一年生、不登校気味で、校長室登校を続ける。
- ・二年生、単級になり、幼稚園の時に首を絞めたという男子と同じ学級になったが、強面の父親が登場して、やっとなげをひっこめたそうだと、平川さんが言うのに、そ

の男子は、明らかに発達障害を感じる子。K子の母親は、高校の教師。それが分からないのはおかしい。発達障害のある子に対して、単に拒否だけでは始まりな

- いのに。
- ・三年生、平川さんが、K子を担当。学年は二学級に、K子の送り迎え。学校評議員の仕事でも、学校に来る。
- ・去年の担任が出した学級通信を五センチメートルぐらいのファイルにして持ち参し、今年はまだ出してない。」とチツクする。

・K子が休んだ日の翌朝、担任が、休んだ理由を聞いた時に、K子を立たせたまま聞いたと、祖母が、校長に報告。(登校した時、すぐに聞いたらそうなりますよと、祖母に話しても通じない)

・K子の絵の具セットに、鳥のフンが付いているのに、先生は怖がって、きれいにしようせんと、子どもが言うので、私(祖母)が、きれいにしに来た。鳥インフルエンザにかかったらどうするんですか。」と言う。それらに対して、平川さんなりに、担任としての配慮を

- ・子どもを「ちゃん」付けで呼ぶと、批判。
- ・K子の絵の具セットに、鳥のフンが付いているのに、先生は怖がって、きれいにしようせんと、子どもが言うので、私(祖母)が、きれいにしに来た。鳥インフルエンザにかかったらどうするんですか。」と言う。それらに対して、平川さんなりに、担任としての配慮を
- ・校長は、「祖母の言うことに
- ・対して、一切弁解や申し開き
- ・のよつなことを言うな。」と言
- ・うけれど、平川さんにしてみ
- ・れば、明らかに誤解している
- ・と思うことは、正したいと思
- ・たと話してくれました。
- ・K子の祖母と母親は、平川
- ・さん不信か、学校不信か、行
- ・事には、心配だからといつも

専門学校の生かの手紙 その①

いじめを乗り越えられたのは 母親の耐えて見守る姿を支えられたから

15歳の頃 柴山 悟

15歳の頃、中学生の私は
同級生からいじめられてい
ました。

ある日、部室に行こうとい
つものように野球部の部室前
を通ろうとした時に、野球部
員に腕をつかまれて引、張ら
れ、金属バットを持った部員
の目に盗んで、離れた自転車
を走らせて行っていました。

それからはつらいはずなのに、
母もそれに耐え、私には何
も言いませんでした。

私は、ソフトテニス部で
したが、部室に行くまでに
野球部の部室前を通らなけ
ればならないのです。いつ
も、通るたびに罵罵を浴び
せられていました。普段で
も同級生には冷たい目で見
られ、帰ろうとした時には
自転車の鍵を取りれたりし
ていました。私は、どうす
ることもできず、ただひた
すら目をつぶって生活して
いました。

ある日、部室に行こうとい
つものように野球部の部室前
を通ろうとした時に、野球部
員に腕をつかまれて引、張ら
れ、金属バットを持った部員
の目に盗らされました。覚悟
を決める間もなく、背中を金
属バットで殴られました。そ
れなりに手加減したようで、
骨が折れたりすることはあり
ませんでしたが、あまりの恐
怖と痛みで、立ち上がれな
かたの覚えています。

その経験があったからこ
そ、今の自分があります。
本当に親には感謝し、尊
敬の念を抱いています。

三年間、いじめに耐えたこと
は、今でも自信につながって
います。あの頃は、つらかった
けれど、そんなあの頃の自分を
敬し、誇りに思っています。

後で知ったことですが、親は
私がいじめられていたことを知
っていたそうです。息子がいじめ

敬し、誇りに思っています。

私はいじめられているこ
とが、親にはばれるのが、どう
してもいやで、部活をやめる



専門学校生からの手紙^{その②}
不登校を乗り越え
看護師をめざし今を生きて

待つ」ということそして……

山本 泉

「昔あったなあ」

と思いました。

私は、高校生の

時、あまり学校へ

行きませんでした。

自分が、登校拒否

児だという自覚は

ありませんでした

し、友達もいまし

た。

あれから八年た

た今、その当時を

振り返ると、生き

ていることも、お

金があることも、

家族がいることも

全て当たり前で、将

来自分の力で生き

ていかなければならないこと

すら、考えたこともありませ

んでした。

登校拒否は、はっきりした

原因が一つだけだなく、いろ

んな問題が積み重なっている

ことも多いと思います。

自分の中でも原因がはっき

り分ならず、なんで学校に行

けないんだと、自己嫌悪に陥

た覚えもあります。自分です

ら、ただもんもんとして考え

がまとまらないうちに、ただ

学校へ行けと言われても、心

に響かないと思います。

だからこそ「待つ」という

ことが一番大事なのだと思います

ました。というより、待つ以

外にできることはないのだと

思います。自分自身の何かが

変わったと思える瞬間まで。

でも、私はやっぱり学校が

好きではないのです。仕事に

就いてからは、休んだりした

ことはないので……。

ちよつとした社会不適合か、

ただ単に、しじりの多い学校

が合わない自由人なのだろう

かと、自分を分析してみました

たが、結局、よく分かりませ

んでした。

今の日本では、中学校・高

校で将来の職業が決められる

ことも少なくありません。多

くの子どもが目標や夢を持つ

ことができれば、もう少し未

来に希望を持って過ごせる

のに思つと、根本的な教

育制度改善の必要性も感じ

ました。

また、登校拒否になる人

は、感受性が強く、自分の

ことでなくても傷つけられ

苦しみ悲しい思いをしてい

る人の気持ちを、他の人以

上に敏感に感じたり、感情

移入しやすいのかも知れま

せん。反面、それは彼らに

しかない強みでもあります。

今、私は精神科看護に興

味を持っています。学校に

行けない子たちに、夢や希

望を持ってもらえる大人に

なりたいと思います。

書いたことは、オーストラリア全部の学校に当てはまるものかそれはまだ分かりません。州によっても違うのかもしれませんが。）

今度は、ソフトの面での違いを見てみましょう。

オーストラリアの学校では、毎朝の先生方の打ち合わせ(朝礼)はありません。そして、ふだんは生徒が帰ったら、先生たちも勤務終了です。日本の中学校や高校のように、部活の指導もありません。先生たちのプライベートな時間は、しっかり保障されているようです。

ただ、毎週1回は、授業終了後に、ミーティングがあり(スタッフルームにて)そこで、いろいろな打ち合わせは、すませるようです。

ホストのフェイス先生によると、隔週に教科ごとの会議、その翌週には、その結果を持ち寄ってのミーティングというようにしているようです。

(実は、そのミーティングを見学させてもらい、そこで、自己紹介をしたのですが、その時、彼女が「彼らは、毎朝ミーティングをやっています。」と横から口をはさむと、拍手をしている先生がいました。これは、明らかに揶揄していた!)

そして、前回紹介したように、週末の金曜は、そのスタッフルームでミニパーティー(アルコール可)をして、1週間を終えるとのこり。

オーストラリアと日本の学校を比べる時に、こういう話から入ると、あちらの方が、楽園のように思えます。そこで、今回は、選挙の時の先生たちの炊き出しによるバザーとか、「オーストラリアの学校にないもの」の話をしたのです。



※オーストラリア訪問 トリアは、ハイスクー だり、食事をとったりする
まず、ハード的なことな ルは、中学校と高校が、 部屋という感じです。
ら、目で確認できるので、連続していますので、こ また、お客さんが来た時に
「オーストラリアの学校 う書きます。)だったので、 は、そこへ通されます。(た
にないもの」は何でしょう? すが、小学校には担任の だし、中高校では、案内し
ア. 運動場 クラスに担任の机があり、 てもらった学校には、パン
イ. 職員室 中・高校には、それぞれの コンやコピー機が置いてあ
ウ. 保健室 特別教室に自分のデスク て、そこで資料を作ったり
さて、どうでしょうか……。 があるようです。 印刷したりする部屋はあり
運動場は、国によって ても、日本の学校では、 ました。また、別に応接室
はないところもあるよう 先生たちは、「職員室」にも もあるようでした。)「
ですが、オーストラリア 自分の机を持っています。 職員室」もそうですが、イの
は、日本と同じく運動場 ところが、オーストラリ 保健室」がないというのが今
はあります。 アでは、「職員室」にあたる の日本では、なかなか想像
高校は、規模にもよる ものがないのです。 できにくいですね。
のでしょうが、私たちの 正確に言うと、子どもた
行ったモデブリー高校は ちが一時的に休養する部屋
サッカー場が3面取れる 控室のような所は、ない はあるのです。でも、そこ
くらいあり、しかも、芝 で面倒を見てくれる養護(保健)の先生はいないので
生が植えてありました。 という部屋が、あるには ます。だから、回復しなかつ
従って、アは正解ではあ るのです。でも、ここ たら、保護者に迎えに来て
りません。 は、テーブルはあるけれ もらうのでしょうか。その部
実は、この問題の正解 仕事ができるような部屋 屋も、単に壁面に沿って長
は、イ(職員室)とウ(保 ではありません。休憩時 椅子があるだけ。手洗いと
健室)です。 間とか、昼食事には、そ かも、保健関係の設備はあり
私たちが訪れたのは、 こへ帰って、お茶を飲ん ません。(ただし、ここに

オーストラリア訪問の報告 オーストラリアの学校授業をしながら考えたことその2

日本の外から日本の教育を考える

岡山理科大学ボランティアセンター
コーディネーター: 武田芳紀

〈選挙の際の先生の出番は〉

アデレードを訪問した最初の年に経験したことを紹介しましょう。

2年前、私たちがオーストラリアを訪れた時期は、ちょうど国政選挙の真っただ中でした。テレビでは、ニュース報道番組で、その様子が毎日放映されていました。このニュースを見ながら、ステイ先のフェイス(Fe)さんが、こんなことを教えてくれました。

彼女は、日本では英語のALTとして勤務されていたのですが、当地では、日本語の教師として勤務されています。

それは《選挙になると先生たちの出番がやってくる》というのです。それは、何だと思いませんか？
選挙になると投票所が

設置されます。日本も以前は、学校で投票ということがありました。彼女の学校にも投票所が設置されます。そうすると、投票日には、たくさんの人が訪れます。先生たちは、朝早くから集合して、ホットドッグなどを大量に作って、それを投票所に来た市民たちに売りさばくのだそうです。

実は、これ、バザーのようなもので、学校によって資金稼ぎの重要な機会になるそうです。(きくと、投票日はお祭り騒ぎのような感じなのかなと想像しました。)

彼女によると、こういう機会が、年に3回あるとか。(だから、これは先生たちも休日出勤という

ことになります。年に3回は、このボランティアがあるということですね。)……と、こう書くと、「あれっ、PTAとかないの?」と思う人もあると思います。実は、僕もそれは気になったのですが、その確認はできませんでした。

でも、この話を聞きながら、私は「どこの国でも、やはり学校の先生は、日常の授業などの本来的な業務の他に、荷負わされることがあるんだなあ。」と苦笑したのでした。

〈オーストラリアの学校のないもの〉

ところで、こうした「妙な」共感(同情?)はさておき、前回述べたように、日豪の学校の違いについて紹介しておくことにします。*

田中和裕さんからの便り

子どもは支えて鍛えれば 必ず成長して行く
どんぞくの子たちを
親から離して水泳で鍛練

泳げなかった子たち
1週間もすれば
1500m泳げる

冠省 妻が大人になって 早い子どもは、1年もす
から喘息を発症しました。 れば治ります。
小児喘息は、子どものう 「両親断療法」を行って
ちに適切な治療・訓練を ました。訓練は「ドル平泳
すれば治りますが、妻の 法」というのをやり、プー
ような場合は、一生付き ルに足を入れたこともなか
合うしかありません。 た子どもたちが、1週間も
私は、1970年代に「青 すれば、足の立たないプー
空学園」という施設を、 ル(2m)で、1500mくら
水島協同病院の付属施設 い泳げるようになりました。
として造り、治療と訓練 両親から離しているのです
に、主任として当たって から、教育面にも一定の責
いました。 任を負うことになりました。

学校を休んだことの多
い子どもたちばかりです
から、相当の遅れが見ら
れました。
「分かる所から分かるよ
うに」が、私のやり方で
した。これは、現役時代
からやってきたことです。
最近、めっきり相談
が、減りました。(81歳)



沖縄復帰40周年記念作品

映画
ひまわり
上映会

4月20日(土) 13:30~
百花プラザ 多目的ホール

4月2日(日) ① 10:30~
② 13:30~

岡山医療生協 会館コムコム
3階ホール

前売券発売中
一般 1300円(当日1500円)

参加費無料・無料駐車場完備

子育て・教育のつどい
2013

5月19日(日)
10:00~16:30
おかやま西川原759
JR西川原駅東口 北1分

小野田正利
(大阪大学大学院教授)

講演「親のイヤネ」

主催:子育て・教育のつどい2013実行委員会
連絡先:おかやま教育文化センター
TEL/FAX 086-238-7663